

(様式第4号)

上田市消防委員会 会議概要

1 審議会名	上田市消防委員会
2 日時	令和元年 7月9日 午後1時30分から午後3時30分まで
3 会場	上田地域広域連合消防本部庁舎 3階 大会議室
4 出席者	戸兵会長、西澤副会長、宮島委員、上原委員、大草委員、大久保委員、宮崎委員、池田委員、堀内委員、和田委員、山寺委員、中澤委員、内海委員、荻原委員
5 市側出席者	越消防部長、佐藤消防総務課長、堀池中央消防課長、宮島消防予防課長、宮原消防警防課長、手塚南部消防課長、石井東北消防課長、川上川西消防課長、丸山丸子消防課長、柳沢真田消防課長、長谷川消防団担当政策幹、田中危機管理防災課長、金子武石地域自治センター一次長、齋藤消防総務課課長補佐、関消防総務課総務担当係長、矢島消防団長
6 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和元年 7月11日

協 議 事 項 等

1 開 会 (関総務担当係長)
2 あいさつ 越消防部長
3 正副会長の選出 委員互選により、会長に戸兵和人委員・副会長に西澤初江委員を選出
4 自己紹介
5 議事【協議事項】
(1) 上田市消防委員会の概要について ・資料に沿い、佐藤消防総務課長から上田市消防委員会条例について概要を説明
(2) 上田市消防団及び上田地域広域連合消防本部の状況について ア 上田市消防団について (矢島消防団長) ・資料に沿い、矢島団長から上田市消防団の状況について概要を説明 イ 上田地域広域連合消防本部について ・資料に沿い、佐藤消防総務課長から上田地域広域連合消防本部について概要を説明
(3) 自主防災組織の状況について ・資料に沿い、田中危機管理防災課長から自主防災組織の状況について概要を説明
(4) 上田市重点目標について ・資料に沿い、各担当課長から説明

・以降、協議

(委員) 災害対応の資機材としてコミュニケーションツールの整備が重要であると考えている。積極的な配備が進むように購入補助を考えて欲しい。

(事務局) 資機材の整備に活用できる補助金要綱のメニューにトランシーバーがある。コミュニケーションツールとして、整備するのは有効だと考えられます。

現在の補助金要綱は上限額等が決められているが、それとは別で、資機材の購入に関して、自治会単位で申請可能な、コミュニティー助成事業・地域活動助成事業があり、毎年、全自治会に対して、制度周知を行っている。申請して採択されるのには、ハードルが高い面もあるが、有利な財源となりますので、引き続き周知してまいります。

(委員) 無免許で1km～2kmと広範囲に電波が飛ぶような、高性能トランシーバーが発売されている。資機材整備のために、自治会から、問い合わせがあった場合は紹介していただけると良いと思う。

(委員) 自宅地域から、指定避難場所までの経路に河川等の氾濫があった場合、指定避難場所への避難が困難となるが、どこへ避難したら良いか。

(事務局) 第一次避難場所は地元公民館・自治会館となっている。その後、災害の種類・規模・期間等に応じて指定避難場所へ避難していただくこととなるが、質問にあったように、状況に応じて指定避難場所へ移動できない場合も考えられますので、その場合は、命を守る行動を最優先に避難場所を選択する必要がある。

また、長期避難生活となる場合、避難場所を自主防災組織で運営していただく等の理由から、各地域で指定する避難場所へ移動していただくことが必要となる場合もあることを御了承いただきたい。

(委員) AEDの購入が補助要綱メニューにあることは大変良いことだが、有事の際、実際に使用できるかが課題になると思う。

(事務局) 市が企画する防災訓練でもAED使用方法の訓練を取り入れている、消防署が実施する講習会等がありますので、自主防災組織として自治会単位等で、受講していただき、有事の際に活用できるように反復した訓練をしていただくことが重要と考えております。8月31日に実施いたします、上田市総合防災訓練にも積極的に御参加いただき、訓練の場としても御活用ください。

6 その他

上田地域広域連合消防本部通信指令室及び上田中央消防署の施設見学並びに起震車の体験搭乗を実施

7 閉 会 (関総務担当係長)